

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 28年												平成 29年															
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~2日	4月 ~9日	4月 ~16日	4月 ~23日	4月 ~30日	5月 ~7日	5月 ~14日	5月 ~21日	5月 ~28日	6月 ~4日	6月 ~11日	6月 ~18日	6月 ~25日
カンピロバクター	72	56	111	153	116	189	214	150	101	118	66	84	61	68	80	18	25	34	31	14	9	30	19	25	24	34	28 (31)	29
病原性大腸菌	140	146	163	167	150	157	240	182	166	227	180	147	107	105	89	13	28	11	21	12	6	7	37	14	27	60	21 (26)	21
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
サルモネラ	12	4	2	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	1	7	2	3	3	1	2	2	2	3	3	4	2	3	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	23	20	25	14	19	32	14	24	23	27	8	15	6	11	12	2	2	4	5	2	2	5	1	1	8	0	9	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	11	11	16	21	20	27	24	19	19	18	14	20	16	19	13	3	4	1	3	6	5	4	3	3	5	3	11	3
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	2	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	2	1	0 (1)	1
ロタウイルス	4	19	29	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	2	1	1	2	0	1	3	2	1	0	2	0
アデノウイルス	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
ノロウイルス	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	21	7	4	8	1	3	2	0	0	0	2	7	2	4	2	1	6

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

* その他の1件は、それぞれアエロモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

平成29年第25週(6月19日~6月25日)

2 一類-二類-三類-四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	15	結核	15	1	8	1		2	3	
三類	0	発生なし	0							
四類	5	重症熱性血小板減少症候群	1			1				
		レジオネラ症	4	2			1	1		
五類全数	6	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3		1			2		
		梅毒	3			1		1		1

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第25週 6/19~6/25)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 手足口病

定点当たり3.96人と、前週と比べてやや減少しましたが、多い状況です。また、全国的に第15週以降、報告数の増加が続いています。

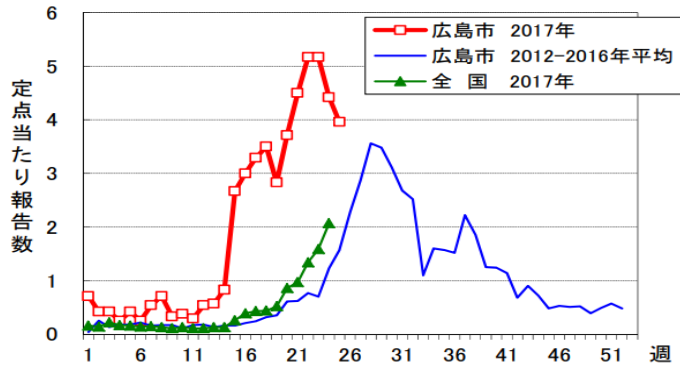
手足口病は、口の中の粘膜や、手足などに水疱性の発しんがでるウイルス性の疾患で、乳幼児を中心に主に夏に流行がみられます。ほとんどは数日のうちに治りますが、まれに髄膜炎や脳炎などの合併症を引き起こすことがあるため、注意が必要です。

なお、広島市衛生研究所による遺伝子検査では、今年は手足口病患者から、コクサッキーウイルスA6型が多く検出されています。また、全国的にも、2017年はコクサッキーウイルスA6型が最も多く検出されています。

2. 梅毒

1件の報告があり、今年の累計は26件となりました。

手足口病の流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	急増減	増減	微増減	横ばい
フィル	インフルエンザ	-	-	0.02		小児科	流行性耳下腺炎	4	0.17	0.94					
小児科	咽頭結膜熱	16	0.67	0.88		眼科	RSウイルス感染症	-	-	0.15					
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	102	4.25	2.13			急性出血性結膜炎	-	-	0.03					
	感染性胃腸炎	176	7.33	6.23			流行性角結膜炎	18	2.25	0.85					
	水痘	6	0.25	0.74		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03					
	手足口病	95	3.96	1.57			無菌性髄膜炎	-	-	0.06					
	伝染性紅斑	2	0.08	0.35			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.23					
	突発性発しん	12	0.50	0.58			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-					
	百日咳	-	-	0.07			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14						
	ヘルパンギーナ	9	0.38	1.51											

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	70	男性(80歳代)・1人、女性(90歳代)・1人
4	レジオネラ症	1	13	女性(80歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	7	女性(50歳代)・1人、女性(70歳代)・1人
5	梅毒	1	26	男性(40歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱(37.0) 嘔気 下痢	1	女	2017/05/18	糞便	ノロウイルスG2
手足口病	紅斑	4	女	2017/05/12	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
手足口病	発熱(37.9) 紅斑 水疱 鼻炎	1	男	2017/05/15	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
手足口病	発熱(37.9) 丘疹	0	女	2017/05/17	糞便	コクサッキーウイルスA6型
ヘルパンギーナ	発熱(38.9) 咽頭炎 嘔吐 下痢 腹痛	2	女	2017/05/18	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型 ライノウイルス 糞便 コクサッキーウイルスA6型 サボウイルス アデノウイルス2型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.3) 気管支炎	0	男	2017/05/08	鼻汁	ライノウイルス ヒメタニューモウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 咽頭炎 気管支炎 肺炎 鼻炎	7	男	2017/05/15	鼻汁	ヒメタニューモウイルス
その他の呼吸器疾患	下気道炎	4	男	2017/05/22	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の消化器疾患	嘔吐 腹痛	0	男	2017/05/20	糞便	アデノウイルス2型
その他の消化器疾患	発熱(37.9) 下痢	3	男	2017/05/21	糞便	アデノウイルス41型
その他の疾患	発熱(39.0) 熱性痙攣	1	男	2017/04/22	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスA6型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載